

決算説明資料

2022年3月期Q2



ニッタ株式会社

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.



1. 2022年3月期Q2 決算概要

2. 2022年3月期 業績予想

3. トピックス

連 結	2021/3期Q2 (百万円)	売上比 (%)	2022/3期Q2 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	37,138	100.0	41,320	100.0	—	—
売上原価	28,151	75.8	30,137	72.9	—	—
売上総利益	8,986	24.2	11,183	27.1	2,196	24.4
販管費	7,795	21.0	8,081	19.6	285	3.7
営業利益	1,191	3.2	3,102	7.5	1,911	160.4
経常利益	2,043	5.5	7,445	18.0	5,401	264.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,594	4.3	6,110	14.8	4,515	283.1
設 備 投 資 額	738		818			
減 価 償 却 費	1,324		1,465			
研 究 開 発 費	887		904			

※2022/3期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しています。
上記2022/3期Q2実績の数値は当該会計基準等を適用した後の数値となっています。

○売上高

- ・国内外の主要業界の需要が回復し増収

○営業利益

- ・増収効果に加え、原価低減や販管費の抑制もあり増益

○経常利益

- ・自動車業界向けや半導体業界向けの需要が堅調に推移したことにより、持分法投資利益が増加

2021/3期期首から「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定

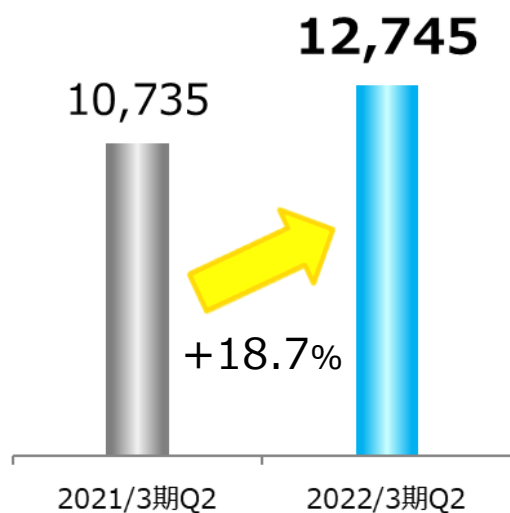
連 結	2021/3期Q2 (百万円)	売上比 (%)	2022/3期Q2 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	34,781	100.0	41,320	100.0	6,539	18.8
売上原価	25,794	74.2	30,137	72.9	4,342	16.8
売上総利益	8,986	25.8	11,183	27.1	2,196	24.4
販管費	7,795	22.4	8,081	19.6	285	3.7
営業利益	1,191	3.4	3,102	7.5	1,911	160.4
経常利益	2,043	5.9	7,445	18.0	5,401	264.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,594	4.6	6,110	14.8	4,515	283.1
設備投資額	738		818			
減価償却費	1,324		1,465			
研究開発費	887		904			

※次頁以降も同様に、2021/3期Q2の数値は当該会計基準を適用したと仮定した数値としています。

国内は、物流業界向けが好調
 工作機械向けが回復傾向
 海外は、物流業界向けや繊維業界向けが好調

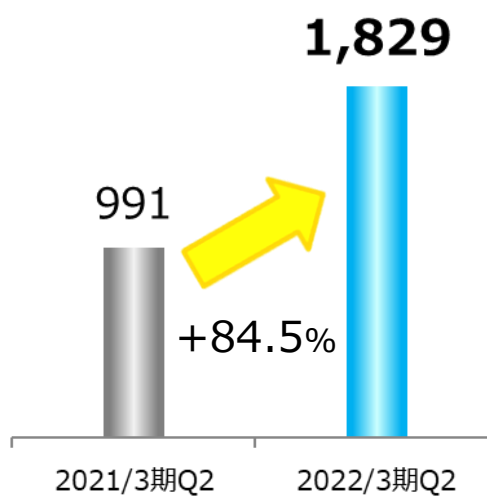
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)



※報告セグメントの区分変更

感温性粘着テープ及びセンサ製品を「その他産業用製品事業」から「ベルト・ゴム製品事業」に変更

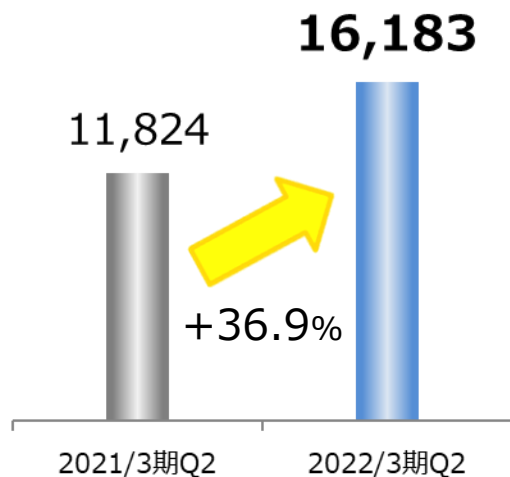




国内、海外ともに、半導体製造装置向けや建設機械向けが好調
自動車向けが回復

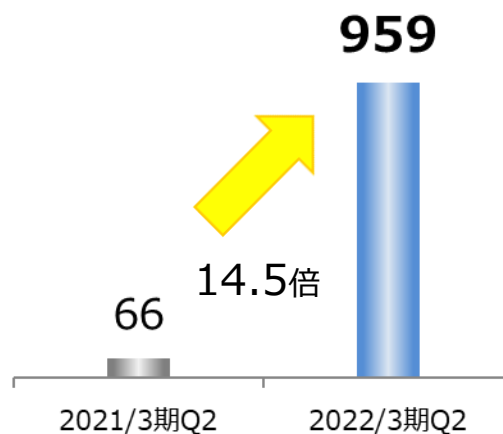
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

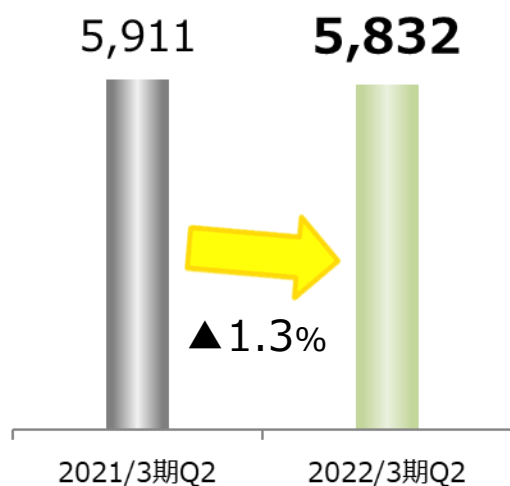
(単位:百万円)



国内は、鉄道車両向けが堅調、引布製品や遮水製品は低調
海外は、OA機器部品が回復

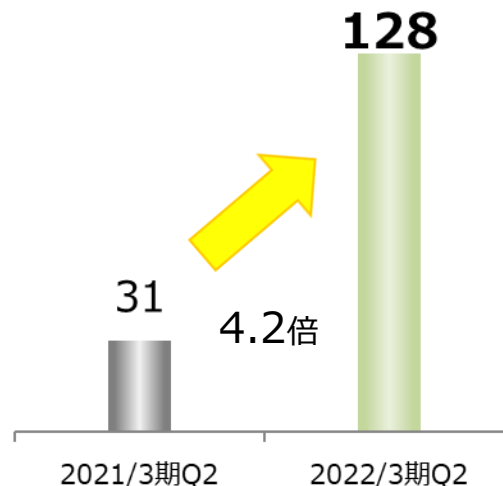
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

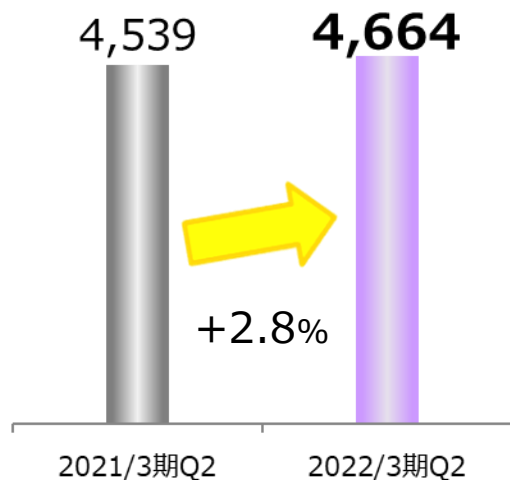
(単位:百万円)



空調製品は、半導体業界向けや微粒子測定器が堅調

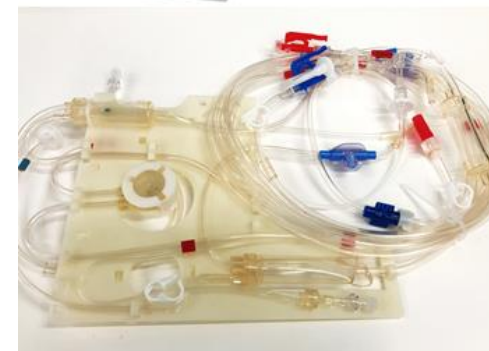
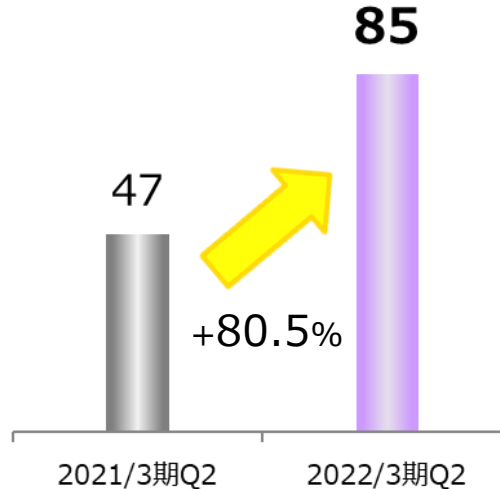
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)

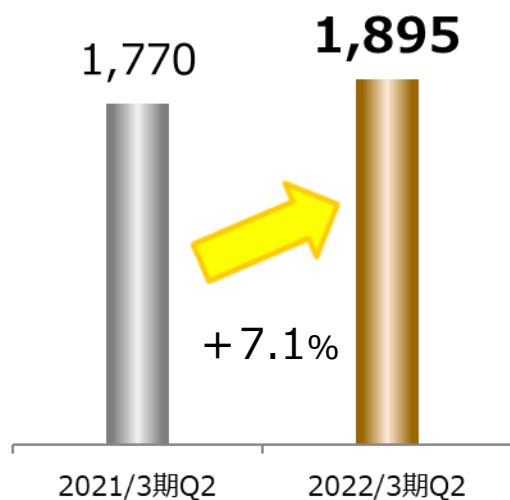


経営指導の対象事業の業績堅調

不動産事業は新型コロナウイルスの影響でやや低調

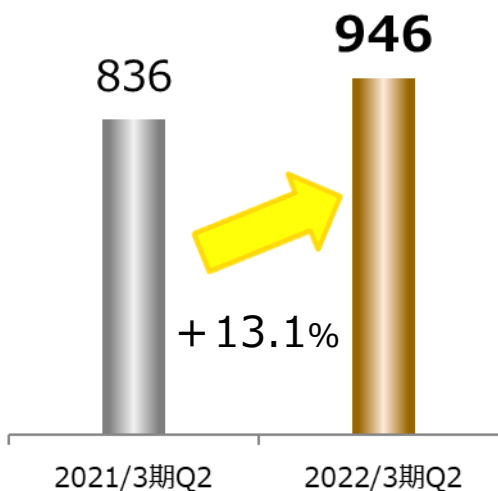
売上高

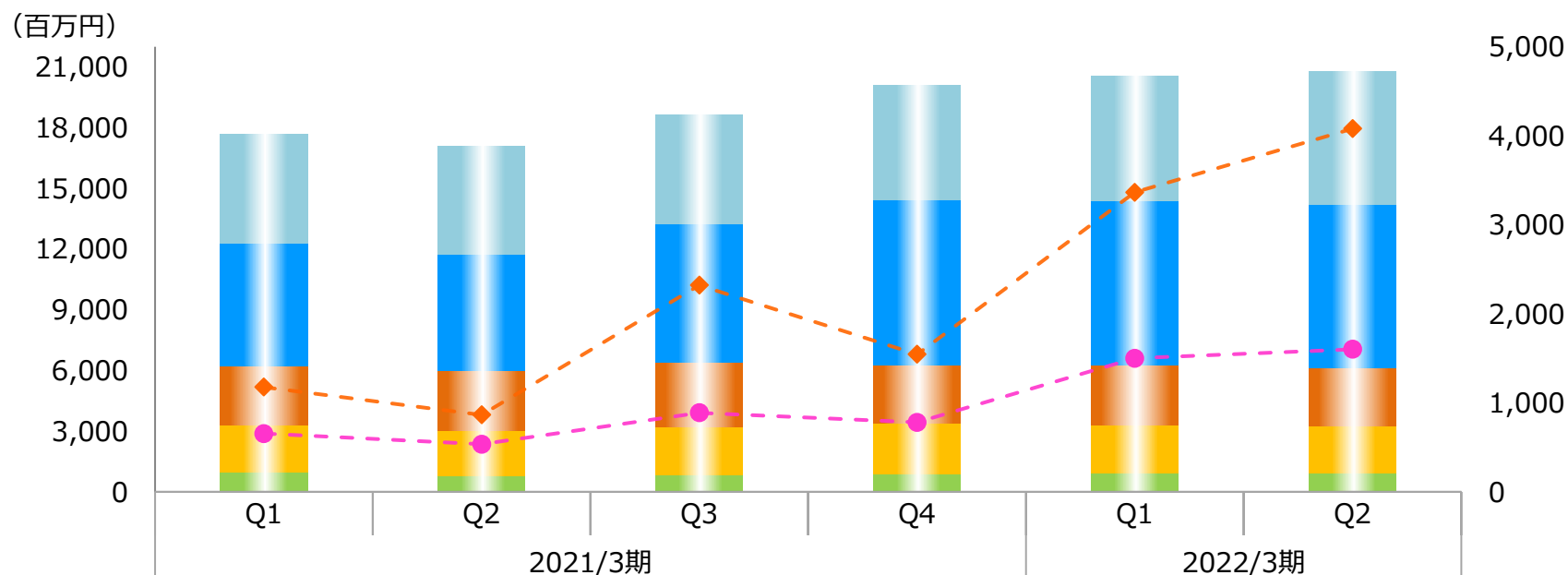
(単位:百万円)



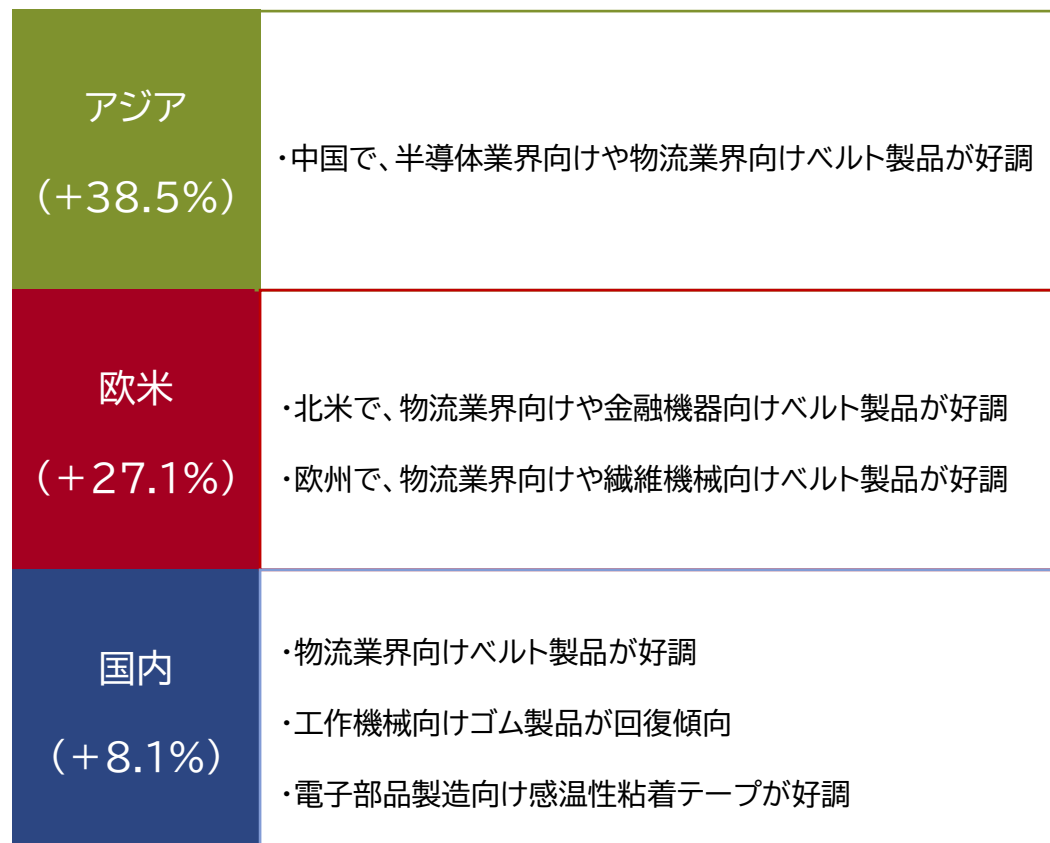
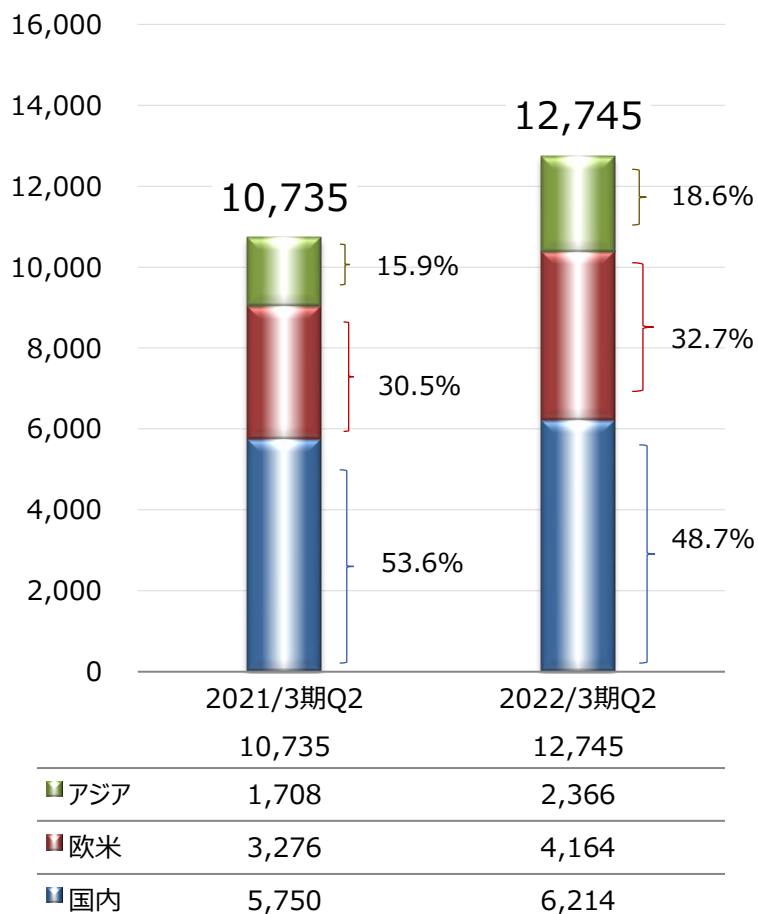
セグメント利益

(単位:百万円)



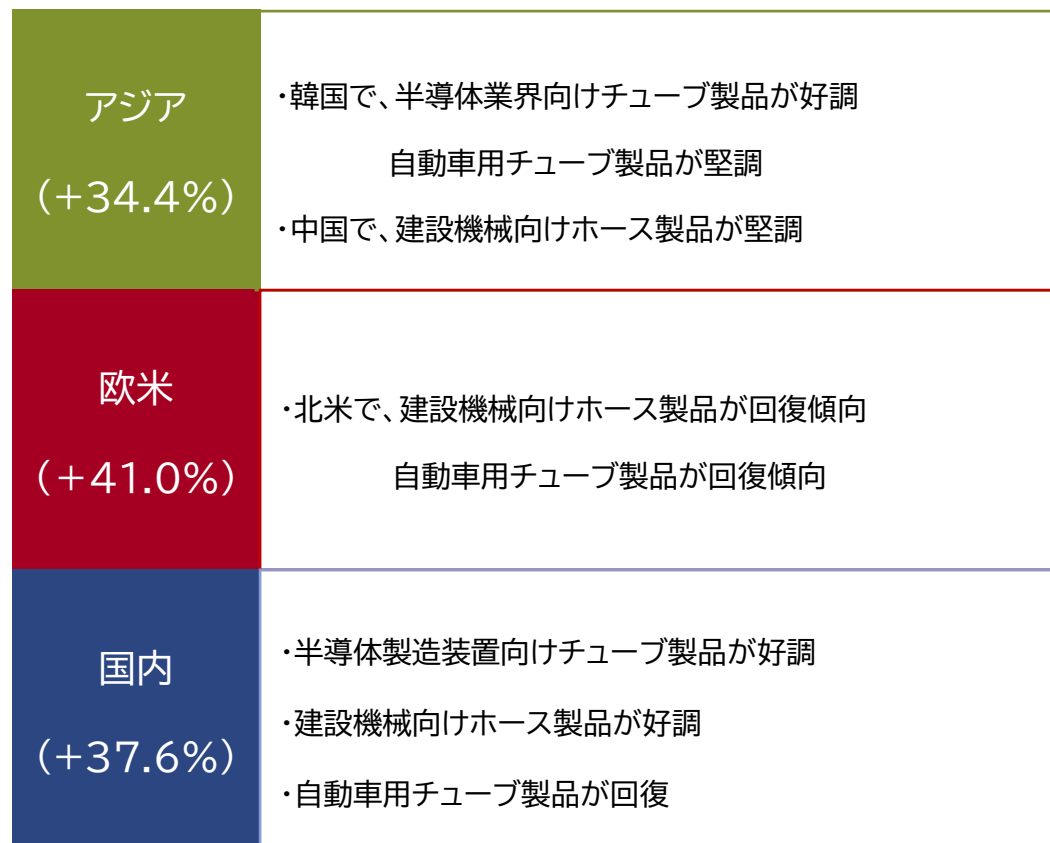
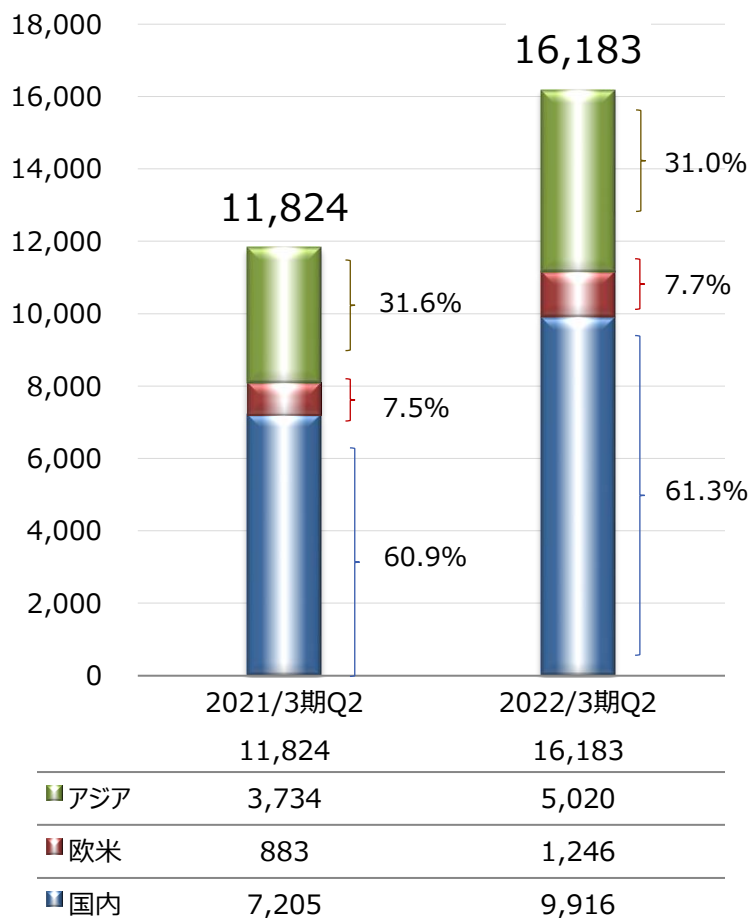


(百万円)



カッコの数値は前年同期比増減率

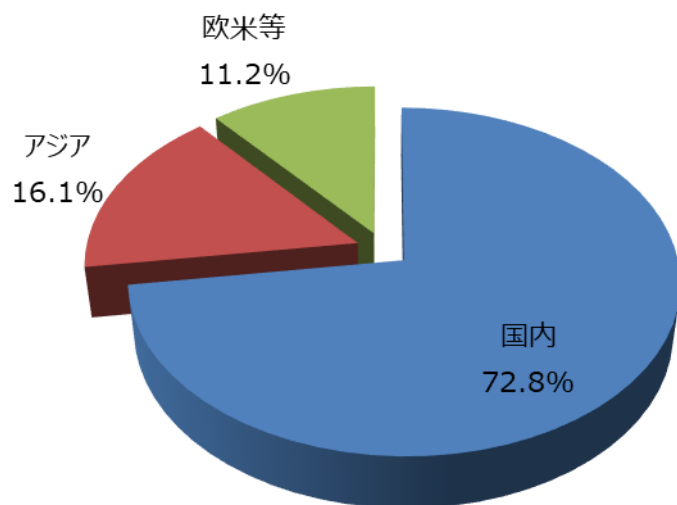
(百万円)



カッコの数値は前年同期比増減率

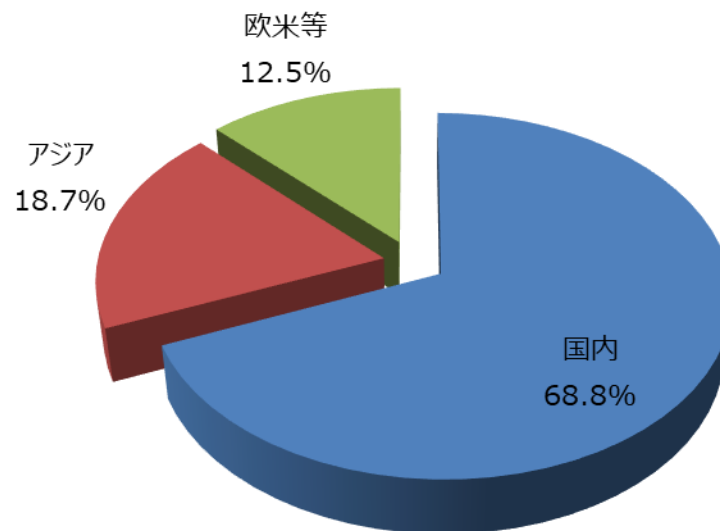
国内は堅調、海外は北米・韓国向けが好調

海外売上高比率 27.2%



2021/3期Q2
売上高 34,781百万円

海外売上高比率 31.2%

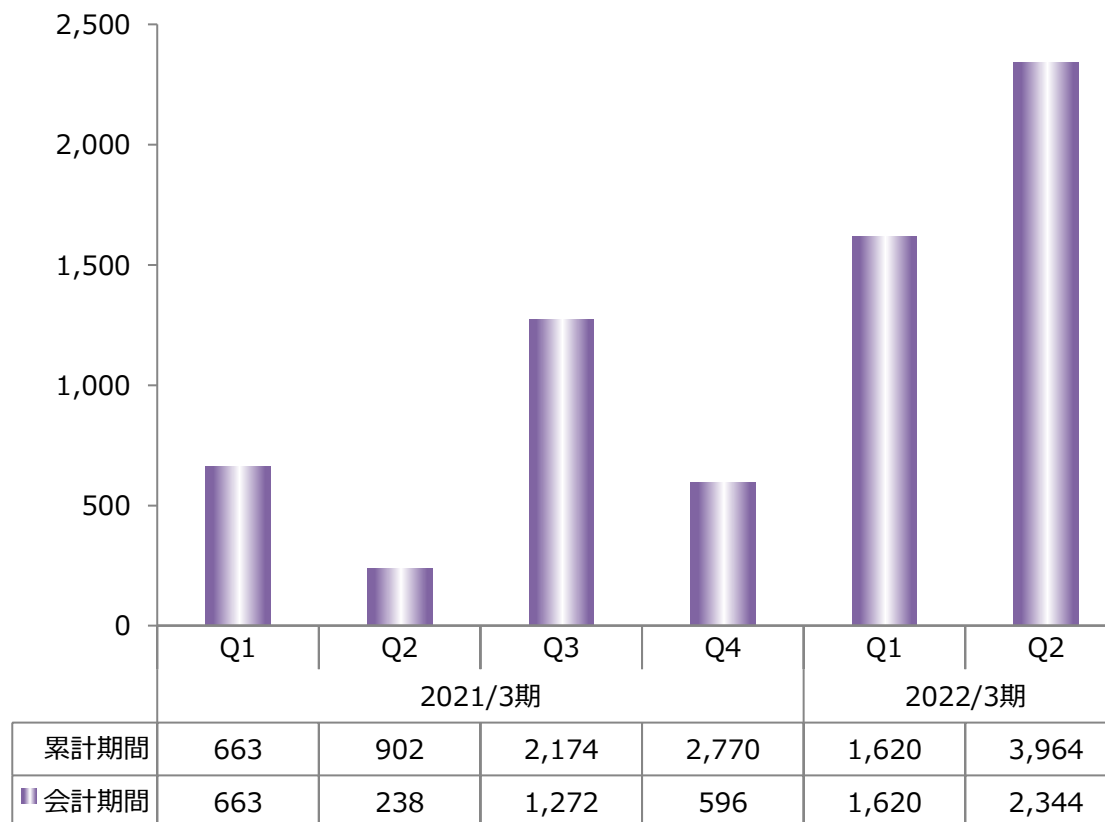


2022/3期Q2
売上高 41,320百万円

GUAグループは、自動車業界向けの需要が回復し堅調

ニッタ・デュポングループは、半導体需要が旺盛なことにより堅調

(百万円)



1. 2022年3月期Q2 決算概要

2. 2022年3月期 業績予想

3. トピックス

2021/3期期首から「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定した数値となっています。

科目	2021/3期実績(百万円)			2022/3期予想(百万円)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想		
売上高※	34,781	38,713	73,495	41,321	38,679	80,000	6,505	8.9
営業利益	1,191	1,669	2,861	3,102	1,898	5,000	2,139	74.8
経常利益	2,043	3,867	5,910	7,445	4,555	12,000	6,090	103.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,594	3,128	4,723	6,111	3,589	9,700	4,977	105.3
設備投資額		2,533			4,000			
減価償却費		2,857			3,000			
研究開発費		1,819			1,800			

※配当予想:

期末の配当予想を、当初の1株当たり35円から、1株当たり50円に修正しています。
これにより年間の配当予想金額は前期実績から1株当たり15円増配の85円となります。

配当金	上期	下期	合計
2021/3期	30円	40円	70円
2022/3期	35円	50円 (予想)	85円

1. 2022年3月期Q2 決算概要

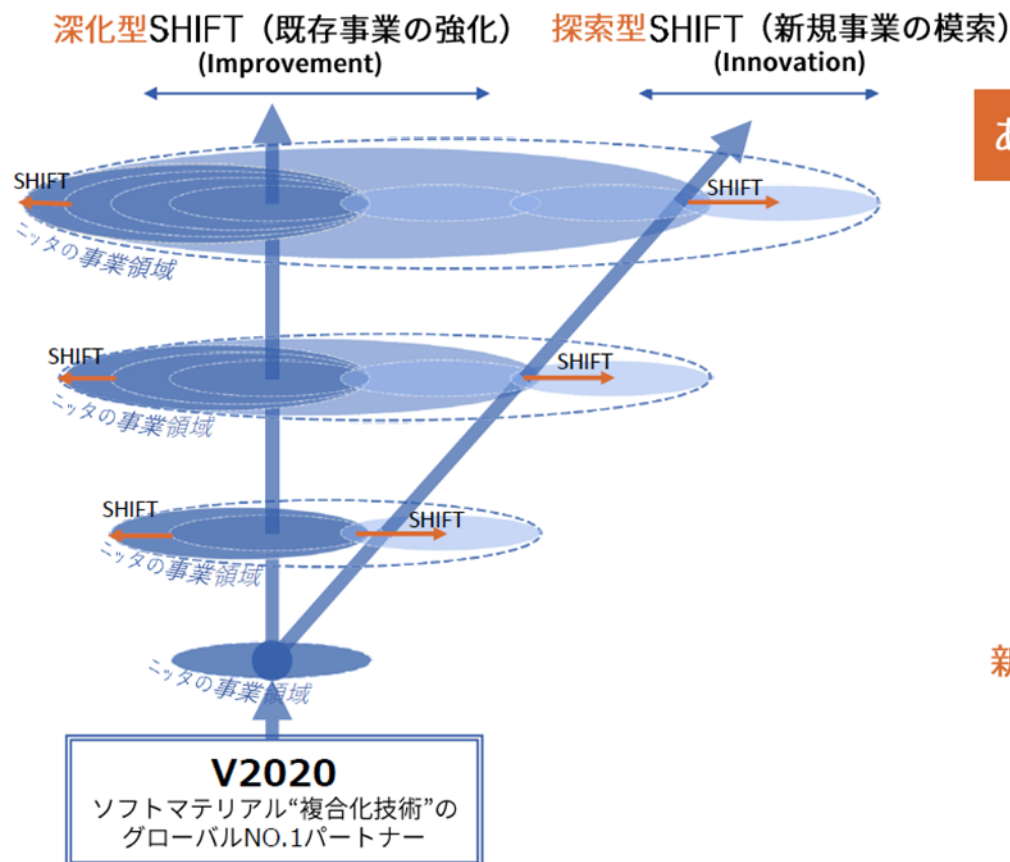
2. 2022年3月期 業績予想

3. トピックス

SHIFTとあるべき姿

SHIFT2030

ものづくりを核としたシフトイノベーター



あるべき姿にこめた想い

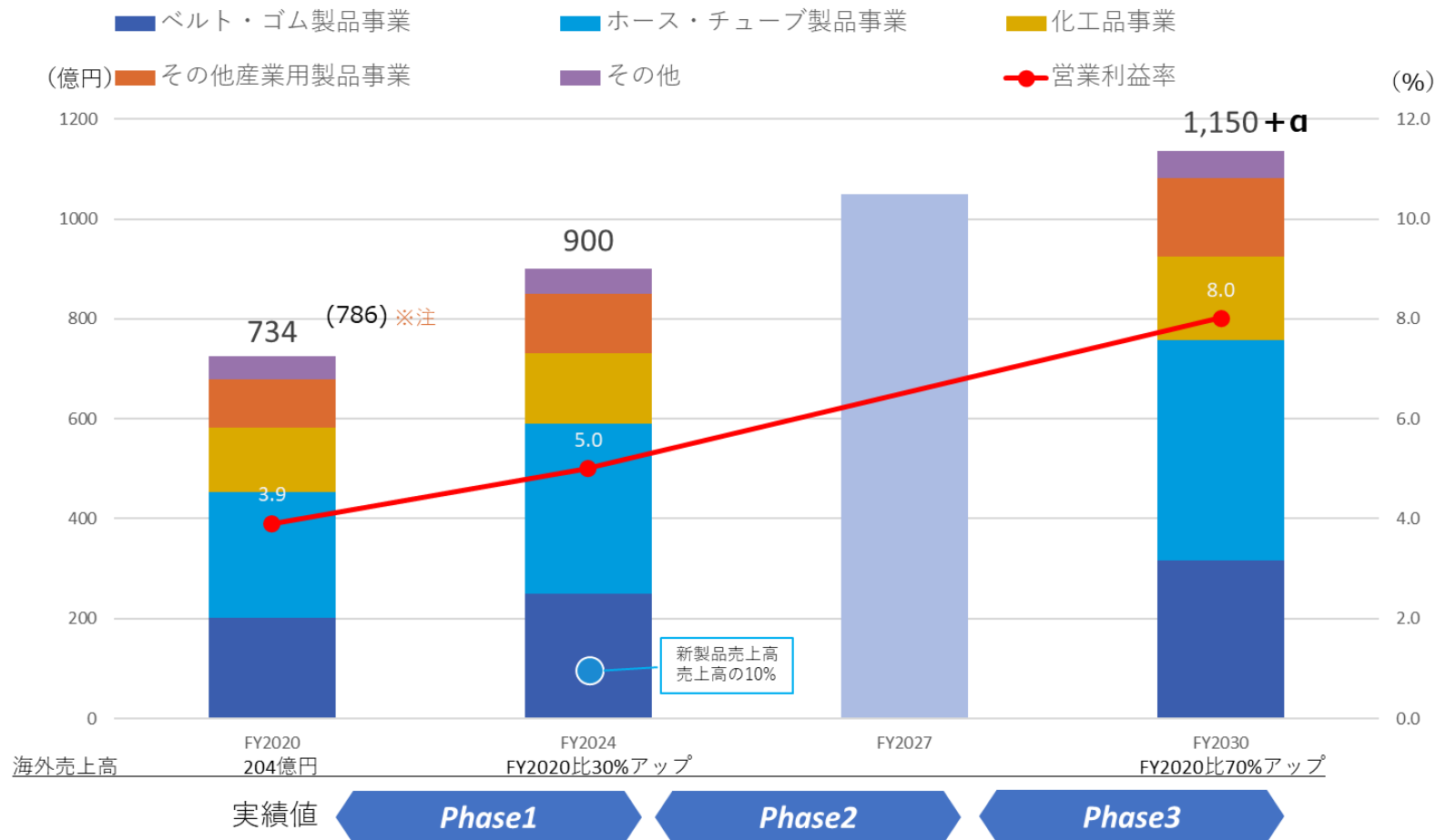
これからの10年は

ものづくりを核として
これまでの事業と技術を
強化し続け、

同時に、

これまでの事業と技術を
新たに広げイノベーション
を模索する

定量目標



※注 当社はFY2021より「収益認識に関する会計基準」を適用します。
 この会計基準をFY2020に適用したと仮定した場合、FY2020の連結売上高は734億円となります。
 それに伴いFY2020の営業利益率も3.6%から3.9%になります。

①成長へのSHIFT

SHIFT for Growth

- ・既存事業の持続的成長
- ・新事業の探索
- ・新製品開発の加速

②企業価値向上へのSHIFT

SHIFT for Corporate Value Enhancement

- ・品質及びトータルコスト競争力の向上
- ・コーポレートガバナンス、コンプライアンスの強化
- ・ESG推進とSDGsのGoal達成

③更なるグローバル化へのSHIFT

SHIFT for Further Globalization

- ・各事業の更なるグローバル展開
- ・コーポレート部門によるグローバルサポート強化

新事業の探索～評価の高まるNamd技術～

航空機や自動車など、軽量かつ高強度を要するものの材料として応用されている炭素繊維強化プラスチック(CFRP)を更に進化させるニッタ独自開発の技術



2021年6月
日本複合材料学会



技術賞

評価ポイント

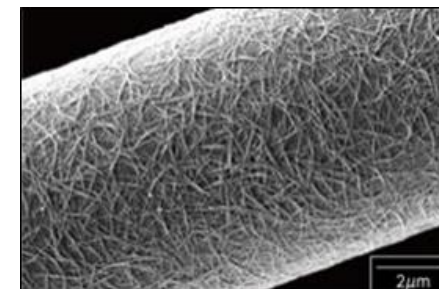
独創的な新製品



2021年9月
先端材料技術協会(SAMPE Japan)



製品・技術賞



Namdは「素材のイノベーション技術」と、業界で認知されつつあります。

新事業の探索～評価の高まるNamd技術～

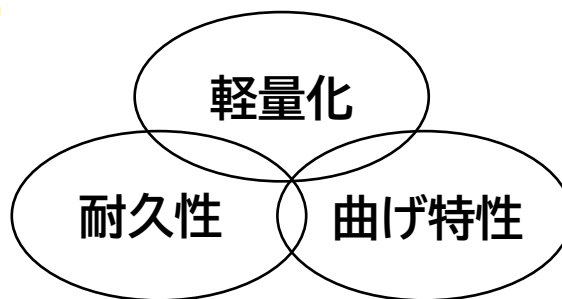
現在

スポーツ・レジャー分野

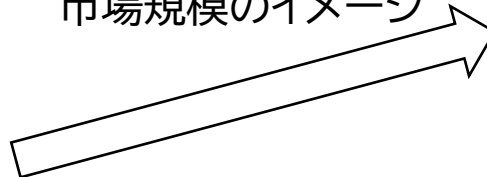
- ・ゴルフ
- ・テニスラケット
- ・自転車
- ・スノーボード など

*Phase1*

Namdの特徴



市場規模のイメージ



今後

高効率化
カーボンニュートラル対応

- ・航空機関連
- ・ロボット
- ・EV関連 など

Phase3

スポーツ・レジャー分野からの事業化に向けて準備中

新製品開発の加速～クリーン関連製品～

様々な場所・用途に対応可能な製品展開 クリーンファンユニット

縦型クリーンファンユニット
NWF-V™シリーズ



通常室内を
簡易クリーンルーム環境に
＜納入先＞病院等

パーティションクリーンユニット
NPTFU™シリーズ



オフィスや飲食店にも最適
薄型でカラー展開豊富



ニッタ株式会社

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

狭い場所でのガス除去 チューブ型ケミカルフィルタ Tubescleaner(チューブスクリーナー)



容易かつ安全に大空間を滅菌 FOGWORKS



統合報告書発行のお知らせ



NITTA 統合報告書2021

1. オープニング
2. 中長期経営計画
3. 事業概況
4. ESG活動報告
5. データ集

webサイトはこちら

https://www.nittagroup.com/jp/investment/library/integrated_report/

今後も、NITTAグループは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、さらなる企業価値の向上に向けた取り組みを継続していきます。

SHIFT
2030
SHIFT INNOVATOR
cored around manufacturing



THANK YOU.